

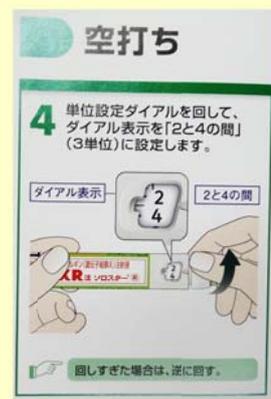


インスリン製剤の病棟での管理に注意してください！

2月24日に、病棟を対象にインスリン製剤が正しく保管・使用されているかの確認を行うため、院内ラウンドが実施されました。その結果、以下の2つの問題点が確認されましたので、改善をお願いします。

1. ランタス XR 注ソロスターの空打ちについて

昨年12月、ランタス XR 注ソロスターが新規採用薬品となりました。ランタス XR 注は既存のランタスと同一の成分ですが、濃度を3倍にした製剤です。そのため同じ液量の空打ちを行うためには、3単位が必要となります。そこで、正しく投与されているか確認を行ったところ、空打ちを2単位のまま実施している病棟が散見されました。単位設定ダイヤルを回して、**ダイアル表示を「2と4の間」(3単位)**に設定し、空打ちを行ってください。



2. ペン型インスリンの患者名シール貼付場所について

2月15日に GRM より、インスリン投与の患者間違い防止のため、ペン型インスリン製剤の本体に名前シールを貼ることが周知され、キャップに貼付することは禁止されました。しかし、実際の遵守状況を確認したところ、未だキャップに貼付している病棟があることが確認されました。キャップは、はめ間違える可能性があるため、**名前シールはキャップではなく本体に貼付**してください。



なお、不明な点、詳細につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：原田)